

「施策進行管理・評価票」検証マニュアル（平成23年度版）

1 検証の実施方針

- (1) 政策評価委員会の設置目的である「施策等の評価の客観性及び公正性の確保」に向け、平成22年度までの施策評価の検証方針であった「評価の結果は市民にとって分かりやすいもの」となっているかという視点を基本に検証を実施します。
- (2) さらに、評価結果に対する成果の説明がふさわしい内容となっているかという視点を新たに加えて検証を行います。

2 検証対象

第3期実行計画における261の施策課題中、重点戦略プランに関連のある120の施策課題（再掲施策課題を除く）について、1つの施策課題につき2名の委員で検証する。

$$\text{※ } 120 \text{ 施策} \times 2 \text{ 名の委員} \div 8 \text{ 名の委員} = \underline{1 \text{ 委員あたり } 30 \text{ 施策}}$$

3 検証の手法

- (1) 「施策進行管理・評価チェックシート（以下「チェックシート」という。）」を用いて、5つのチェックポイント（共通の視点）を設け、チェックポイントごとの判定について「良」、「可」、「要改善」の3段階方式を採用することとします。
- (2) 「良」、「可」、「要改善」の判定については、チェックポイントごとに基準を設けることとします。
- (3) 「要改善」と判定した場合は、チェックシートのコメント（改善意見）欄に、その理由（改善点）を記入することとします（できる限り、判定結果を明確に示し、所管課へフィードバックしていきます。）。また、「良」、「可」と判定した場合も、評価票の記載内容の改善に向けて、参考となる意見等があれば、コメント（改善意見）欄に、その内容を記入することとします。
- (4) 評価票全体を通して、評価票の分かりやすさ向上に向けた御意見等がありましたら、チェックシートの最下欄の総括的コメント欄に記入をお願いします。

なお、施策が目標に向かって着実に進捗が図られているかどうかの所感や施策・事業の進め方、あり方等の御意見がありましたら、参考とさせていただきますので、この欄に御記入ください。

【判定基準一覧】

チェックポイント	判定区分		
	良 良好と判断される場合	可 おおむね良好と判断される場合	要改善 市民への説明責任が果たされていないと判断される場合
各チェックポイント 共通	<ul style="list-style-type: none"> ●より分かりやすく説明が行われている。 例) 数値などを使った具体的な説明 例) 経年的な比較を取り入れた説明 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が理解できる説明がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民へ誤ったメッセージを与えるおそれがある。 ●市民の理解を得るための説明として、適正でない。
チェックポイント① 課題等の具体性等	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的な数値を示しながら説明が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●具体例を示しながら説明が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●抽象的な説明に止まっている。
チェックポイント② 課題等の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ●「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」の関連性が十分に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」の関連性が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」の関連性が理解できない。
チェックポイント③ 当該年度の成果等の具体性等	<ul style="list-style-type: none"> ●参考指標による説明が行われており、〇〇をやりましたというアウトプットの説明だけでなく、その結果、どのような成果がもたらされたかというアウトカムの説明まで行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ●アウトカムの説明は行われていないが、事業実績や進捗率などの参考指標を用いて、アウトプットの説明が行われている。 ●参考指標による説明は行われていないものの、その他の指標や具体的な事例等を用いてアウトプットの説明が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●参考指標による説明が行われているが、施策の成果の説明として有効でない。 ●参考指標による説明が行われておらず、また、その他の指標や具体的な事例等を用いた説明も行われていないため、何を行ったのかが具体的に理解できない。
チェックポイント④ 成果説明と評価結果の整合性	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">次 頁 参 照</div>		
チェックポイント⑤ 参考指標の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ●アウトカムを示す参考指標が設定されている。 ●アウトプットを示す参考指標が設定されており、その考え方や計画値に対する状況の説明が適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当該施策との関連性がある施策を取り巻く状況またはアウトプットを示す参考指標が設定されている。 ●参考指標は設定されていないが、その理由や背景が十分説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●設定されている参考指標が当該施策の取組と全く関連性が認められない。 ●参考指標が設定されていない場合、その理由や背景の説明がないか、説明が不足している。

検証項目（２）成果説明の妥当性

『チェックポイント④ 「当該年度の成果」、「残された課題」は、「評価結果（評価区分：AⅠ、AⅡ、B、C）」と見合った内容となっているか。』

[判定基準一覧]

評価結果 (評価区分)	内 容	新たな課題等の有無		着眼点（チェックの視点）	判定区分		
		区分	有無		良	可	要改善
A	<u>目標に向かって順調に課題解決が図られているもの</u>	I	(この区分に該当するケース) 「施策の目標」の実現を阻害するような新たな課題や残された課題等が無い場合	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって順調に進捗していることが説明されているか。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、順調に進捗していることが十分に説明されている。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、順調に進捗していることが説明されている。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、順調に進捗していることが読み取れない。 <input type="checkbox"/> 評価区分「AⅠ」の説明として相応しくない。
		Ⅱ	(この区分に該当するケース) 新たな課題や残された課題等があり、一部取組の改善など対応していく必要がある場合	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって順調に進捗していることが説明されているか。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、新たな課題等が説明されているか。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、順調に進捗していることが十分に説明されている。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、課題等の説明が行われており、かつ一部取組を改善することが十分説明されている。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、順調に進捗していることが説明されている。 <input type="checkbox"/> 「残された課題等」欄で、課題等の説明が行われている。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、順調に進捗していることが読み取れない。 <input type="checkbox"/> 「残された課題等」欄で、課題等の説明が行われていないか、説明が不足している。 <input type="checkbox"/> 評価区分「AⅡ」の説明として相応しくない。
B	<u>一定の課題解決が図られているが、一方で新たな課題等のため取組内容の見直しが必要となっているもの</u> (この区分に該当するケース) 新たな課題や残された課題等があり、「施策の目標」の実現に向けて、計画の見直しや取組の改善が必要な場合			<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって一定の成果が上がっていることが説明されているか。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、新たな課題等が説明されているか。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、一定の成果が上がっていることが十分に説明されている。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、課題等の説明が行われており、かつ計画の見直しや取組の改善が必要な内容であると理解できる。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、一定の成果が上がっていることが説明されている。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、課題等の説明が行われている。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、「施策の目標」に向かって、一定の成果が上がっていることが読み取れない。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、課題等の説明が行われていないか、説明が不足している。 <input type="checkbox"/> 評価区分「B」の説明として相応しくない。
C	<u>課題解決が図れていないため、抜本的な見直しが必要なもの</u> (この区分に該当するケース) 前提としていた諸条件（法制度等）が大きく変化し、取組内容の抜本的な見直しを行わなければ、「施策の目標」の実現が困難な場合			<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、成果が未達成であることが説明されているか。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、前提としていた諸条件（法制度等）が大きく変化していることが説明されているか。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、成果が未達成であることが十分に説明されている。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、前提としていた諸条件の大きな変化について説明が行われており、かつ取組内容の抜本的見直しが必要であると理解できる。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、成果が未達成であることが説明されている。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、前提としていた諸条件の大きな変化について説明が行われている。	<input type="checkbox"/> 「①当該年度の成果」欄で、成果が未達成であることが説明されていないか、説明が不足している。 <input type="checkbox"/> 「②残された課題等」欄で、前提としていた諸条件の大きな変化について説明が行われていないか、説明が不足している。 <input type="checkbox"/> 評価区分「C」の説明として相応しくない。

■ 検証項目とチェックポイント

1 「第3期実行計画（2011(H23)～2013(H25)年度）における施策の概要及び施策の目標」について

検証項目（1）課題、概要、目標の分かりやすさ

チェックポイント① 「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」は具体的かつ分かりやすいか。

（着眼点1）

〔解決すべき課題〕

何が問題・課題となっているか、分かりやすく具体的に記述されているか。

〔施策の概要〕

施策を構成する事務事業の内容が分かりやすく具体的に記述されているか。

〔施策の目標〕

どんな状態や姿（市民生活、都市機能の向上）をめざすのか、どの水準まで高めるのか、いつまでに終わるのか、事例や「参考指標」などを引用して分かりやすく具体的に記述されているか。

（着眼点2）

専門用語や難解な言葉については、補足説明や表現の工夫が行われているか（「施策の目標」、「解決すべき課題」、「施策の概要」のいずれかの欄で説明されていれば、可とします。）。

（判定にあたっての留意点）

このチェックポイントでは、3つの項目の説明について分かりやすさの観点から検証します。「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」それぞれについて、十分説明されているか、もしくは、多少言葉不足と思われるが、概ね理解できる場合には、判定区分は「良」もしくは「可」としますが、いずれかの項目において、「説明責任を果たしていない」、「市民が理解できない」と判断したものがあれば、「要改善」を選択することとします。

（チェックポイント① 着眼点1の参考例）

事例1

（要改善）

施策の目標	地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちをめざします。
-------	-----------------------------



（良）

施策の目標	「一般廃棄物処理基本計画」に掲げている「市民一人一日あたりのごみ排出量 180g 減量」など、ごみの減量・リサイクルを推進し、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちをめざします。
-------	--

〔説明〕（要改善）の事例は、「地球環境にやさしい」、「持続可能な循環型のまち」が抽象的でイメージしにくい表現となっている。これに対して、（良）の事例は、数値目標等を掲げるなど、具体的に説明している。

事例 2	(要改善)
施策の目標	音楽によるまちづくりを推進することで、本市の新たな都市イメージを発信します。



	(可)
施策の目標	ミューザ川崎シンフォニーホールを活用するなど、市民が優れた音楽・芸術を身近で享受できる機会を確保することにより、新たな都市イメージである「音楽のまち・かわさき」を発信し地域の活性化などにつなげます。

[説明] (要改善) の事例は、「音楽によるまちづくり」によって、どのように新たな都市イメージを発信するのかという説明がなく分かりにくくなっている。これに対して、(可) の事例は、“どのように” の部分を具体的に説明している。

(チェックポイント① 着眼点 2 の参考例)

事例 3	(要改善)
施策の目標	児童生徒の「確かな学力」の育成をめざします。



	(可)
施策の目標	児童生徒の学習環境を整備するとともに、指導方法や授業の改善を図ることにより、「確かな学力」(知識や技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、問題を解決する資質や能力) の育成をめざします。

[説明] (要改善) の事例は、「確かな学力」の意味について説明がなく分かりにくくなっている。これに対して、(可) の事例は、「確かな学力」の意味について補足説明を行うことで分かりやすくなっている。

(注) 事例は判定区分を分かりやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。

検証項目 (1) 課題、概要、目標の分かりやすさ

チェックポイント② 「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」の関連性が分かりやすく記述されているか。

(判定にあたっての留意点)

このチェックポイントでは、「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」での記述内容が、それぞれ対応し関連していることが分かるかどうか検証します。

「解決すべき課題」、「施策の概要」の関連は分かるが、「施策の目標」との関連が分からない場合など、一方の関連は理解できるが、他方の関連は理解できない場合には、「要改善」とすることとします。十分理解できる、または、多少改善すべき点はあるが、分からないとまでは言えず、概ね理解できる場合には、「良」または「可」を選択することとします。

(チェックポイント② 参考例)

事例4

(要改善)

解決すべき課題	安全な地域社会の確立
施策の概要	交通安全対策の充実
施策の目標	自動車登録台数の縮減



(可)

解決すべき課題	安全な地域社会の確立
施策の概要	交通安全対策の充実
施策の目標	交通事故の減少

[説明] (要改善)の事例は、「安全な地域社会の確立」「交通安全対策の充実」という「施策の目標」「施策の概要」に対し、「自動車登録台数の縮減」という「解決すべき課題」との間に直接的な関連性がなく分かりにくくなっている。これに対して、(可)の事例は、「安全な地域社会の確立」という「施策の目標」に向けて、「交通安全対策の充実」という「施策の概要」を実施することで「交通事故の減少」が「解決すべき課題」になっており、それぞれの関連性が理解できる。

事例5

(要改善)

解決すべき課題	市民サービス向上のための総合コンタクトセンターでの業務の充実
施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応
施策の目標	1件当たり相談対応時間の短縮化



(可)

解決すべき課題	市民サービス向上のための総合コンタクトセンターでの業務の充実
施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応
施策の目標	市民の利便性と満足度の向上

[説明] (要改善)の事例は、「施策の概要」に掲げられた「的確かつ丁寧な対応」という取組内容と「施策の目標」に掲げられた「対応時間の短縮化」との間に相反する点があり分かりにくくなっている。これに対して、(可)の事例は、「施策の概要」に掲げられた「的確かつ丁寧な対応」という取組内容と「施策の目標」に掲げられた「市民の利便性と満足度の向上」との関連性が理解できる。

(注) 事例は判定区分を分かりやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。

2 「成果の説明」について

検証項目（2）成果説明の妥当性

チェックポイント③ 「当該年度の成果」や「残された課題等」は施策課題全体を網羅しており、具体的かつ分かりやすいか。

（着眼点 1）

「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」に対して、部分的な説明になっていないか。

（着眼点 2）

「施策の目標」に対して、成果（課題解決の程度や見込み）がどうであったか説明されているか。

（着眼点 3）

「参考指標」を用いて説明しているか。「参考指標」を用いていない場合、その他の指標や具体的事例等、「参考指標」に代わる説明の工夫がされているか。

（着眼点 4）

専門用語や難解な言葉については、補足説明や表現の工夫が行われているか。
（別の欄で説明している場合も可とします。）

（チェックポイント③ 着眼点 1 の参考例）

事例 6

（要改善）

施策の目標	市民ボランティア及び民間交流団体の増加を図るなど、市民レベルの国際交流活動を活性化します。
当該年度の成果	通訳ボランティアが 10 人増えました。



（可）

施策の目標	市民ボランティア及び民間交流団体の増加を図るなど、市民レベルの国際交流活動を活性化します。
当該年度の成果	通訳ボランティアを 10 人増やすとともに民間交流団体についても 1 団体増えたことで、昨年実績を 2 上回った 46 の交流事業を実施することができました。

[説明] （要改善）の事例は、「施策の目標」で掲げられた「民間交流団体の増加」について、「当該年度の成果」で説明していません。これに対して、（可）の事例は、「民間交流団体の増加（増減）」についても説明しており、「施策の目標」に掲げられた内容を網羅しています。

(チェックポイント③ 着眼点2の参考例)

事例7	(可)
施策の目標	放置自転車の減少
当該年度の成果	駐輪場を4箇所整備したほか、禁止区域の指定(○箇所)や周知啓蒙活動に取り組みました。



	(良)
施策の目標	放置自転車の減少
当該年度の成果	駐輪場を4箇所整備したほか、禁止区域の指定や周知啓蒙活動(○箇所)に取り組んだ結果、 放置自転車が500台減少 しました。

[説明] (可)の事例は、具体的な事例や数値を掲げてアウトプットの説明を行っています。
 (良)の事例は、さらに踏み込んで、取組の結果、どうなったか、アウトカムの説明まで行っています。

事例8	(可)
当該年度の成果	認可保育所について、当初目標とした〇〇箇所の整備(定員1,230人増)を達成しましたが、「保育待機児童の解消」には至りませんでした。



	(良)
当該年度の成果	認可保育所について、当初目標とした、〇〇箇所の整備(定員1,230人増)を達成しましたが、 女性の就労機会の増大や大規模住宅の建設に伴う子育て世帯の流入など、予想を上回る保育ニーズの高まり から、「保育待機児童の解消」には至りませんでした。

[説明] (良)の事例は、さらに踏み込んで、「待機児童の解消」に至らなかった理由・背景を説明しており、より分かりやすい。

(チェックポイント③ 着眼点3の参考例)

事例9	(要改善)
当該年度の成果	屋上・壁面緑化により、市内建築物の屋上・壁面緑化面積を増加させることができました。
参考指標	市内建築物の屋上・壁面緑化面積



	(良)
当該年度の成果	市役所庁舎の屋上・壁面緑化を推進するとともに、市内の30事業所を訪問し緑化推進に向けた取組の協力・理解を求めた結果、2010年3月末現在、 市内建築物の屋上・壁面の緑化面積が計画値を2割上回る6,200㎡ となりました。
参考指標	市内建築物の屋上・壁面緑化面積

[説明] (要改善)の事例は、「参考指標」として設定した「市内建築物の屋上・壁面緑化面積」の数値を活用した説明がなく、具体的な事例を用いた説明も行われていません。これに対して、(良)の事例は、「参考指標」として設定した「市内建築物の屋上・壁面緑化面積」の数値を活用しながら具体的に説明しています。

検証項目（２）成果説明の妥当性

チェックポイント④ 「当該年度の成果」、「残された課題等」は、「評価結果（評価区分：AⅠ、AⅡ、B、C）」と見合った内容となっているか。

（判定にあたっての留意点）

このチェックポイントは、評価結果（評価区分）に対して説明責任を果たしているかという視点を基本に検証していただくものです。このことから、判定基準一覧についても評価区分に応じて、チェックの視点を設定していますので、検証に当たり参考としてください。

（「評価結果及びその評価区分とした理由」欄について）

「当該年度の成果」及び「残された課題等」での説明が、評価結果（評価区分）と見合っているべきところですが、必ずしもそうでない場合に補足的な説明を記述するための項目として「その評価区分とした理由」欄を設けています。

このことから、「当該年度の成果」及び「残された課題等」でその施策の成果について市民が理解できるように説明されていれば、「その評価区分とした理由」欄の記述は参考となりますが、そのように理解できない場合には、「当該年度の成果」「残された課題等」と「評価区分」が見合ったものとなっているよう補足されているかについて検証が必要となります。

（チェックポイント④ 評価区分AⅠの参考例）

事例 11-1	（要改善）	（良）
施策の目標	歩行者の安全確保に向け、路上喫煙防止の啓発稼働を行い、路上喫煙者の割合の減少（前年比10%減）をめざします。	歩行者の安全確保に向け、路上喫煙防止の啓発稼働を行い、路上喫煙者の割合の減少（前年比10%減）をめざします。
当該年度の成果	路上喫煙防止に向けた啓発活動を行いました。	路上喫煙防止重点禁止区域を中心に路上喫煙防止に向けた啓発活動を実施することで、路上喫煙者数が前年度の〇〇人から〇〇人へと40%減少しました。
新たな課題等	（なし）	（なし）
評価結果	AⅠ	AⅠ
評価区分とした理由	予定通り啓発活動を実施しました。	啓発活動を継続的に実施することで、路上喫煙者数の減少に着実につなげています。

【説明】（要改善）の事例は、事業を実施したことのみで、順調な課題解決が図れているかの説明がありません。これに対して、（良）の事例は、施策を実施したことによる成果を「当該年度の成果」欄で数値を用いて説明することで対応すべき課題を示すとともに、事業が順調に進捗していることを「評価区分とした理由」欄で説明しています。

（注）評価区分が「AⅠ」の場合、「残された課題等」は記述必須としていないため、記述がありません。

事例 11-2	(要改善)
施策の目標	地域特性に応じた市内道路整備を行います。
当該年度の成果	市道〇〇線の整備事業に着手しました。
新たな課題等	一部の道路予定地の収用が未済です。
評価結果	A I
評価区分とした理由	市道〇〇線の整備事業に着手しました。

事例 11-3	(要改善)
施策の目標	地域特性や市民ニーズを踏まえ市内道路整備(〇〇m)を実施し、安全で快適な交通環境の向上を図ります。
当該年度の成果	〇〇整備計画に基づき平成25年7月整備完了をめざし、市道〇〇線の整備事業(〇〇m)に着手しました。
新たな課題等	一部の地権者との交渉が決着しておらず、〇〇地区(〇〇㎡)の道路予定地の収用が未済です。
評価結果	A I
評価区分とした理由	一部地権者との交渉は残っていますが、事業全体の進捗は計画通り進んでいます。

[説明] 事例 11-2 では、「新たな課題等」の記述から、事例 11-3 では、「新たな課題等」、「評価区分とした理由」から取組の一部を改善すべき必要があるととらえ、評価区分「A I」の説明として相応しくないことから「要改善」としています。

(チェックポイント④ 評価区分「A II」の参考例)

事例 12	(要改善)
施策の目標	地域特性に応じた市内道路整備を行います。
当該年度の成果	市道〇〇線の整備事業に着手しました。
新たな課題等	一部の道路予定地の収用が未済です。
評価結果	A II
評価区分とした理由	市道〇〇線の整備事業に着手しました。



	(可)
施策の目標	地域特性や市民ニーズを踏まえ市内道路整備(〇〇m)を実施し、安全で快適な交通環境の向上を図ります。
当該年度の成果	〇〇整備計画に基づき平成25年7月整備完了をめざし、市道〇〇線の整備事業(〇〇m)に着手しました。
新たな課題等	一部の地権者との交渉が決着しておらず、〇〇地区(〇〇㎡)の道路予定地の収用が未済です。
評価結果	A II
評価区分とした理由	一部地権者との交渉は残っていますが、事業全体の進捗は計画通り進んでいます。

[説明] (要改善)の事例は、事業を実施したことのみで、順調な課題解決が図れているかの説明がありません。これに対して、(可)の事例は、対応すべき課題を示すとともに、事業が順調に進捗していることを「評価区分とした理由」欄で説明しており、この評価区分を選択した理由が理解できます。

(チェックポイント④ 評価区分「B」の参考例)

事例 13-1		(要改善)
施策の目標	地域の文化資源である「〇〇祭」を開催し、〇〇〇人の来場をめざすことで、地域の魅力を市内外にアピールします。	
当該年度の成果	「〇〇祭」を開催し、〇〇〇人の来場者がありました。	
新たな課題等	実施手法を見直す必要があります。	
評価結果	B	
評価区分とした理由	「〇〇祭」を開催しました。	



		(良)
施策の目標	地域の文化資源である「〇〇祭」を開催し、〇〇〇人の来場をめざすことで、地域の魅力を市内外にアピールします。	
当該年度の成果	「〇〇祭」を開催し、〇〇〇人(前年度比10%減)の入場者がありました。	
新たな課題等	入場者は前年度から減少しており、アンケート結果から、20%程度が「あまり満足できない」「満足できない」と回答していることから、実施手法の見直しを図る必要があります。	
評価結果	B	
評価区分とした理由	新聞等で記事として取り上げられるなど地域におけるメインの文化イベントで市内外から多くの来場があり、地域の活性化に貢献していますが、今後も継続的に魅力発信していくためには、イベント自体の魅力向上(アンケートにおける「満足」の割合90%以上)に向けた取組が必要となっています。	

[説明] (要改善)の事例は、何故実施手法を見直す必要があるのか理由の記述がないため、何故「B」なのか分かりません。これに対して、(良)の事例は、一定程度成果が上がっていることは、「当該年度の成果」欄の記載ではアウトプットの記述のみであるため、分かりやすさにおいて、やや劣るものの、「評価区分とした理由」欄で定性的に説明し補足しています。また、見直すべきものが何なのか数値を使って具体的に説明しており、この評価区分を選択した理由が十分理解できます。

事例 13-2

(要改善)

施策の目標	地域の文化資源である「〇〇祭」を開催し、〇〇〇人の来場をめざすことで、地域の魅力を市内外にアピールします。
当該年度の成果	「〇〇祭」を開催し、〇〇〇人(前年比10%増)の来場者があり、地域のメインの文化イベントとして市内外に地域の魅力をアピールしました。
新たな課題等	地域の魅力の一層のアピールが必要です。
評価結果	B
評価区分とした理由	新聞等で記事として取り上げられるなど地域におけるメインの文化イベントとして、地域の活性化に貢献しています

[説明] 事例 13-2 では、地域のメインの文化イベントとして順調に集客しその魅力をアピールしており、また、「新たな課題等」の記述も取組内容を見直すほどの課題とは思えないととらえ、評価結果「B」の説明として相応しくないことから「要改善」としています。

(注) 事例は判定区分を分りやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。

3 「参考指標」について

検証項目（3）参考指標の妥当性及び分かりやすさ

チェックポイント⑤ 「参考指標」は成果を説明するものとしてふさわしいか。また、具体的かつ分かりやすいか。

「参考指標」が設定されていない場合、その理由は妥当か。

（着眼点 1）

「参考指標」は、当該施策の主要な取組や「施策の目標」に関連するものとなっているか。

（着眼点 2）

「アウトプット」を示す「参考指標」が設定されている場合、その考え方や計画値に対する状況の説明が、適切に行われているか。

（着眼点 3）

「参考指標」が設定されていない場合、市民が理解できるような理由や背景が、「指標の説明」欄に記述されているか。

（着眼点 4）

専門用語や難解な言葉については、補足説明や表現の工夫が行われているか。
（別の欄で説明している場合も可とします。）

（チェックポイント⑤ 着眼点 1 の参考例）

事例 14

（要改善）

施策の目標	市民の生命や健やかな生活を守るため、地域で発生する犯罪や交通事故の防止に向けた安全・安心な地域社会の確立をめざします。
参考指標	消費生活相談件数



（可）

施策の目標	市民の生命や健やかな生活を守るため、地域で発生する犯罪や交通事故の防止に向けた安全・安心な地域社会の確立をめざします。
参考指標	・市内街頭犯罪認知件数 ・市内交通事故発生件数

〔説明〕（要改善）の事例は、「参考指標」として設定した「消費生活相談件数」が「施策の目標」と直接関連しておらず、分かりにくくなっています。これに対して、（可）の事例は、「参考指標」として設定した「市内街頭犯罪認知件数」、「市内交通事故発生件数」と「施策の目標」との関連性が理解できます。

事例 15		(可)
施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応	
施策の目標	市民の利便性と満足度の向上	
参考指標	相談等受付件数	



		(良)
施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応	
施策の目標	市民の利便性と満足度の向上	
参考指標	<ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ、相談等に対する1次回答率（総合コンタクトセンターで回答が完了した件数の割合） ・電話応対に対する市民満足度 	

[説明] (可) の事例も「施策の目標」等に関連する「参考指標」を設定していますが、(良) の事例は、さらに進んで、アウトカムの「参考指標」を設定しています。

(チェックポイント⑤) 着眼点2の参考例)

事例 16		(可)
参考指標	「参考指標」として事業進捗率を設定 完成予定 2012年度 事業進捗率 2011年度 80%	



		(良)
参考指標	「参考指標」として事業進捗率を設定 完成予定 2012年度 事業進捗率 2011年度 80%	
	[指標の説明] 当該施策は、〇〇整備事業であり、成果等は整備完了後に発現することとなります。 よって、2011年度時点の事業進捗状況を示す指標を設定します。なお、事業は計画通り進捗しております。	

[説明] (可) のハード系の施策の事例では、成果の発現が整備完了後となることから、アウトプットである事業の進捗率を「参考指標」として示しています。これに対して、(良) の事例は、「指標の説明」に「成果の発言が整備完了後になる」ことからアウトプット指標を設定すること。また、示した指標により、施策がどのような状況にあるかを説明しています。

(チェックポイント⑤) 着眼点3の参考例)

事例17

(要改善)

参考指標	<p>[指標の説明] [指標の設定ができない理由] 当該施策は、平成25年度以降に実施する〇〇等の窓口サービスについて、「実施方針」を策定するもので、定量的な指標の設定になじまないと考えます。</p>
------	--



(可)

参考指標	<p>[指標の説明] [指標の設定ができない理由] 当該施策は、平成25年度以降に実施する〇〇等の窓口サービスについて、「実施方針」を策定するもので、策定の過程で利用者数や人件費削減効果額等の目標を設定する予定であり、現段階では参考指標の設定を見合わせたいと考えます。</p>
------	---

[説明] (要改善)の事例は、「参考指標」を設定できない具体的な理由や状況の説明がありません。これに対して、(可)の事例は、「参考指標」を設定できない具体的な状況の説明を行っています。

事例18

(要改善)

参考指標	<p>[指標の説明] [指標の設定ができない理由] 当該施策は、〇〇駅周辺地区の整備事業であり、成果等は整備完了後に発現することとなるため、それを指標として表すことは現段階では難しいと考えます。</p>
------	---



(可)

参考指標	<p>「参考指標」として事業進捗率を設定 完成予定 2012年度 事業進捗率 2011年度 80%</p>
------	---

[説明] (要改善)の事例は、「参考指標」を設定できない理由として、成果の発現は整備完了後となることをあげていますが、ハード系の施策の場合、事業の進捗率を示すことも可能であり、理由が適切ではありません。これに対して、(可)の事例は、「参考指標」として事業進捗率を設定する工夫を行っています。

(注) 事例は判定区分を分かりやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。

施策進行管理・評価チェックシート

別添様式

施策コード	施策課題名	委員名

1 「第3期実行計画（2011（H23）～2013（H25）年度）における施策の概要及び施策の目標」について

検証項目	チェックポイント	区分	判定	コメント（改善意見）
(1)課題、概要、目標の分かりやすさ	①「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」は具体的かつ分かりやすいか。	良		
		可		
		要改善		
	②「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」の関連性が分かりやすく記述されているか。	良		
		可		
		要改善		

2 「成果の説明」について

検証項目	チェックポイント	区分	判定	コメント（改善意見）
(2)成果説明の妥当性	③「当該年度の成果」や「残された課題等」は施策課題全体を網羅しており、具体的かつ分かりやすいか。	良		
		可		
		要改善		
	④「当該年度の成果」、「残された課題等」は、「評価結果（評価区分：AⅠ、AⅡ、B、C）」と見合った内容となっているか。	良		
		可		
		要改善		

3 「参考指標」について

検証項目	チェックポイント	区分	判定	コメント（改善意見）
(3)参考指標の妥当性及び分かりやすさ	⑤「参考指標」は成果を説明するものとしてふさわしいか。また、具体的かつ分かりやすいか。「参考指標」が設定されていない場合、その理由は妥当か。	良		
		可		
		要改善		

4 総括的コメント